



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2016年4月

No.1

「美は見つめる者の目の中に」

昔、神学校に通っていたとき、ある友人が「美は見つめる者の目の中にある」という言葉を語っていました。その時から、事あるごとにこの言葉が思い起こされます。

この言葉は、元々は "Beauty is in the eye of the beholder." という英語の言葉で、美というのは絶対的なものではなく、見る人の心情や意識によって左右されるもので、主観的なものだという意味のようです。確かに、そうかもしれません。同じものを見ても、美しいと感じる人もいれば、そうでない人もいます。その限りでは、確かに美というものは主観的なものとも言えます。しかし、そうした意味ではなく、もう少し別の意味で、この言葉はずっと私の心に残ってきました。それは、美とは、見つめる対象が美しいから美しいのではなく、それを美しいと見る心があるから美しいのだということです。もっと言えば、わたしたちの心は、本質的に美を知っているということです。

わたしは、ヘレン・ケラーの本に出会ったとき、その思いを一層深めました。ご存じのように、ヘレン・ケラーは目が見えず、耳が聞こえず、話すこともできませんでした。その三重苦を克服して言葉を覚え、話すことを覚え、勉学に励み、ラドクリフ・カレッジ(現ハーバード大学)を卒業し、健常者に劣らぬ文化的・社会的活動を行った女性です。そのヘレン・ケラーが書いた自伝に、こういう一文があります。「レースのような葉陰、昆虫の薄手の翅(はね)、そよぐ微風、揺らめく花、ハトの胸の柔らかい呼吸(いき)使い、吹く風に立てる草のか細い音、-----いまさらながら気づいた自然の美しさでありました」。もちろん、ヘレン・ケラーは、肌で風を感じ、鼻で匂いをかぎ分け、手で触れることによって自然を感じることができました。しかし、それを「美しい」と表現することができたのは、その感覚によってだけではなかったと思います。それ以上に、それを美しいと感じる心があったからではないでしょうか。

聖書には、神は人間に「永遠を思う心」を与えられたと書かれています(コヘレトの言葉 3:11)。わたしたちには、永遠を思う心があるのです。そして、その永遠とは、「真・善・美」であると言われてきました。しかし、それは、しばしばいろいろな悪(あ)しき思いにおいて弱められているのではないのでしょうか。ですから、大切なことは、その永遠を思う心をいつも鮮明にしていくことなのです。そして、その場所が、この礼拝なのです。わたしたちに永遠を思う心を与えて下さった神を見上げるとき、わたしたちは、その心を豊かに回復して行くことができるのです。

(大学・政治経済学部チャプレン 菊地 順)

2016年度年間聖句

また、はっきり言うておくが、どんな願ひ事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。

マタイによる福音書 18章 19節

4月月間聖句

イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」

マタイによる福音書 22章 37~39節

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

・ 4月14日(木) ハバクク書 1章 柳田 洋夫チャプレン

全学礼拝期間について

2016年度春学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

春学期/2016年4月8日(金)~7月21日(木)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出^{いだ}したまえ
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

イースターとは？

イースター(復活祭)とは、私達の罪のため十字架で死なれたイエスさまが3日目によみがえられたことを祝うお祭りのことです。今年のイースターは3月27日でした。



イースター・エッグ イースターでは、よみがえる新しいいのち、永遠の命のシンボルとしてイースター・エッグが交換されます。
うさぎは、春になると穴から出てのびのびと跳ね回ります。そのように死の深い淵・死の闇といった穴からいのちへと躍動する喜びの象徴として、しばしばうさぎが用いられます。
パンと魚の図形は、復活の主イエスがガリラヤ湖畔に現れ、弟子たちとともに食事をされたことを示しています。そのため、それは主が約束してくださった永遠の命と復活の主との交わりを意味します。



4月8日(金)

～礼拝の心得～

チャペルは神さまに礼拝をささげる、神聖なところです。次のことに注意して、礼拝のために備えましょう。

- ◇チャペル内では静粛を保ちましょう。
- ◇チャペルでは帽子をとりましょう。
- ◇チャペルへの飲食物の持ち込みは禁止です。

◇携帯電話はマナーモードに設定し、通話は控えてください。



奨励者 清水 正之 (学長)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 清水 貴子
 ◆ ◆ ◆
 前奏
 讃美歌 461番 1、2節
 聖書 コリントの信徒への手紙 ー 12章 31節 b～13章 7節 (新約 P.317)
 祈禱
 奨励 「信仰の道」
 祈禱
 讃美歌 461番 3、4節
 主の祈り
 後奏

4月12日(火)

奨励者 阿久戸 光晴 (理事長・院長)
 司会者 菊地 順
 奏楽者 今村 優子
 ◆ ◆ ◆
 前奏
 讃美歌 121番 1、2節
 聖書 コリントの信徒への手紙 ー 1章 18～31節(新約 P.300)
 祈禱
 奨励 「神の愚かさは人よりも賢し」
 祈禱
 讃美歌 121番 3、4節
 主の祈り
 後奏

4月13日(水)

ーイースター礼拝ー

奨励者 菊地 順 (大学・政治経済学部チャペル)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 相川 徳孝
 ◆ ◆ ◆
 前奏
 讃美歌 154番 1、2節
 聖歌隊による讃美奉獻
 “You Raise Me Up”
 聖書 マルコによる福音書 16章 1～8節(新約 P.97)
 祈禱
 奨励 「日曜日の朝に」
 祈禱
 讃美歌 154番 3節
 主の祈り
 後奏

4月14日(木)

奨励者 阿部 洋治 (人間福祉学部チャペル)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 松本 周
 ◆ ◆ ◆
 前奏
 讃美歌 II171番 1節
 聖書 ヨハネによる福音書 6章 1～14節(新約 P.174)
 祈禱
 奨励 「無意味さを超えて」
 祈禱
 讃美歌 II171番 1節
 主の祈り
 後奏

4月15日(金)

奨励者 柳田 洋夫 (人文学部チャペル)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 浦沢 如希
 ◆ ◆ ◆
 前奏
 讃美歌 352番 1、2節
 聖書 創世記 1章 26～27節(旧約 P.2)
 祈禱
 奨励 「人間とは何か」
 祈禱
 讃美歌 352番 3節
 主の祈り
 後奏